まちのわだい
masaki's town news

▼10月19日
和やかに真剣勝負

松前町老人クラブ連合会主催のスポーツ大会は、松前公園で行われ、各地区の老人クラブ会員約 200 人が集まりました。
開会式では、山口久夫老人クラブ連合会長が「練習の成果を発揮するとともに、和気あいあいと楽しい 1 日を過ごしましょう」とあいさつ。参加者は、グラウンドゴルフと輪投げに取り組み、和やかに真剣勝負をしながら、交流を深めていました。

▼10月12日
わっしょい　わっしょい

秋祭りの期間中、町内の各幼稚園や保育所で、おみこしパレードが行われました。このうち古城幼稚園の園児たちは、自分たちで作った個性豊かなおみこしを担いで八幡神社へ向けて出発。「わっしょい、わっしょい」と元気いっぱいに掛け声を出しながら、練り歩きました。沿道では、そんなかわいらしい子どもたちの姿を、近所の人々が温かく見守っていました。

▼10月7日
北黒田公民館農園で収穫祭

北黒田公民館農園で、サツマイモの収穫祭が行われました。収穫祭には子どもから高齢者まで大勢の人が参加しました。サツマイモは、6 月 10 日に植えつけられたものです。
参加者は、「とれたとれた」「こんなに大きい」などと歓声を上げながら収穫作業を楽しんでいました。とれたサツマイモは、みんなで持ち帰りました。

▼9月20日
収穫の喜びと苦労を体感

弓立俊正さん＝徳丸＝の水田で、青葉幼稚園の園児が、黄金色に実った稲を刈り取りました。徳丸農業区の協力の下、園児たちが自ら稲を植え、刈り取るというこの試み。園児たちは、小さい体で稲をかき分けながら、1アールほどの刈り取りに挑戦しました。率先して鎌をもち、楽しそうに作業を進める一方、「稲刈り疲れた。帰りたい一」という声もあがるなど、収穫の「喜びと苦労」を一緒に体感していました。

▼10月19日
立派なお米ができました

北伊予小学校の5年生は、6月に植えた稲を収穫しました。米作りについて勉強するため、神崎地域の人たちの協力のもと行っているこの授業。子どもたちは台風の影響で少しぬかるんでいた田んぼをものともせず、稲刈りに励みました。岡田拓朗くん＝中川原＝と大政佑太くん＝神崎＝は「幼稚園以来の稲刈りで久しぶりでした。たくさんあって大変だったけど楽しかった」と、心地よい秋風の中での授業を喜んでいました。

▼10月18日
バリィさんが投票を PR に来庁

インターネット投票で順位を決める「ゆるキャラグランプリ」にエントリーしている今治地域のゆるキャラ・バリィさんが、「1 位になれるように応援して」と松前町民にお願いに来庁しました。
昨年の 2 位より上位を目指そうと、今治市観光課の職員ら 4 人と訪れたバリィさんは、愛くるしい仕草で投票を呼び掛けていました。
投票は 11 月 16 日まで行われます。

▼10月11日
商工会婦人部が災害対策基金へ寄付

松前町商工会婦人部はまさき町夏祭りの売り上げの一部を、松前町に寄付しました。
同部は、毎年夏祭りでバザーを行っており、平成 18 年度から毎年、売り上げ金の一部を大規模地震災害対策基金に寄付しています。
白石勝也町長は、東日本大震災を例に、災害対策基金の重要性について話をし、寄付に対して感謝の意を表しました。

▼9月22日
交通事故が減りますように

「第 4 回おたたさんで交通茶屋」は、エミフル MASAKI で行われました。愛媛県警察音楽隊の演奏や交通安全グッズ配布に加え、今回は NPO 法人松山大学 Muse が制作した「松前町交通事故危険箇所マップ」を学生自らが配布。マップには、交通事故防止のポイントも記載されています。Muse の大西裕美さん＝上高柳＝は「ちょっと気をつけるだけで事故は減らせる。家族みんなで見てほしい」と安全を啓発していました。